

授業科目名	人体のしくみとはたらきⅢ	担当者	柳井 和年
単位	—		
時間数	34時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	人体の構造や各器官系統の働きの意味を、生活行動の観点から理解する。また骨格・筋・神経・感覚・血液・生体防御・循環・呼吸・消化・吸収・内分泌・腎尿路・生殖系について理解する。		
授業の概要	解剖生理学は、後に続く病態の理解や対象の健康障害を理解するために重要な科目である。看護の対象である人体のしくみとはたらきについて、各器官の部位、構造と機能を系統的に学ぶ。		
授業計画	<p><生殖器と人体の発生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の生殖器 ・女性の生殖器 ・人体の発生 <p><運動器></p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨の形状と構造 ・骨の発生と成長 ・骨の科学的組成 ・骨のはたらき ・骨の連結 ・骨格筋の形状 ・筋の補助装置 ・からだの各部の骨格と筋 頭部、体幹、上肢、下肢 ・筋のはたらき 骨格筋の収縮、心筋と平滑筋の収縮 <p><感覚系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚のなりたち ・体性感覚 ・臓性感覚 ・特殊感覚 嗅覚、味覚、聴覚と平衡感覚、視覚 <p><神経系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経系の概要 神経系、神経系をつくる細胞、ニューロン、神経系の外形や機能による区分 ・神経系の各部分の構造と機能 中枢神経系、末梢神経系 		
テキスト	新看護学1 人体のしくみとはたらき 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		